

さい、議会だより



一年の無火災と村民の安心・安全を願って「佐井村消防団出初式」 （1月7日）

1 2 月定例会の主な内容

- ☆一般会計補正予算「定置網業協業化に期待」…………… 2 ページ
- ☆一般質問「オフサイトセンター建設誘致の行動を」… 4 ～ 5 ページ
- ☆追跡質問「福浦・牛滝小中学校の今後は」…………… 6 ページ
- ☆お元気ですか「温泉で健康・元気の現役漁師」…………… 8 ページ

平成27年12月定例会は、12月8日から10日までの3日間の会期で行われました。
村長から、補正予算案4件、条例案6件の計10件の議案が提出され、予算条例等審査特別委員会を設けて集中審査し、すべての議案を全会一致で原案どおり決しました。

一般会計補正予算 定置網業協業化 漁業の活性化に期待

一般会計	補 正 前	補 正 額	計	
	3 0 億 7 1 8 5 万円	1 億 1 1 8 0 万円	3 1 億 8 3 6 5 万円	
補正の主な内容	■佐井村漁業創生プロジェクト事業 佐井村定置網業協業化促進事業に係る経費など・・・・・・・・・・1 億 5 1 万円 ※地方創生先行型交付金を活用し、協業化による法人形態での操業を希望する 団体に対し、事業費の一部を交付するもので、経営基盤の強化、次世代を担 う漁業者の育成などをおし、村の基幹産業の振興を図ることが目的です。 現在、公募により決定した3団体が、協業化へ向け取り組みを始めています。			
	■保育所運営事業費の増額・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 0 0 1 万円 保育所入所児童の増による指定管理委託料や、他自治体への広域入所委託料など			
特別会計	会 計	補 正 前	補 正 額	計
	簡 易 水 道 事 業	1 億 2 8 5 0 万円	1 1 1 万円	1 億 2 9 6 1 万円
	下 水 道 事 業	1 億 8 7 5 0 万円	1 7 9 万円	1 億 8 9 2 9 万円
	介 護 保 険 事 業	3 億 1 0 1 2 万円	1 7 5 2 万円	3 億 2 7 6 4 万円

審議した主な議案

○佐井村村税条例等の一部を改正する条例（平成27年条例第24号）の一部改正

市町村民税申告書、軽自動車税の減免申請書などについて、個人番号および法人番号の定義が付け加えられたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

○佐井村核燃料物質等取扱交付金事業基金条例

地方自治法第241条の規定に基づき当基金を設置し、青森県核燃料物質等取扱税交付金の全部または一部を積み立てできるよう条例を制定するものです。

○佐井村水道事業給水条例の一部を改正する条例

計画的に水道料金を見直す必要があるため、条例を改正するものです。これにより、平成28年4月1日から水道料金の基本料金と超過料金が10%上がります。

◇標準家庭での比較（夫婦と子供2人の場合）

〈例〉1ヶ月の水道料金（22m³ 使用した場合）

・改定前	3,875円	
・改定後	4,228円	月額 353円 の増



第4回臨時会 (11月9日)

マイクロバス購入費
佐井中学校屋内体育館改修工事

契約金額変更を全会一致で可決

審議した主な議案

○専決処分した事項の報告

マイクロバスの契約金額の一部変更

799万2,000円



806万8,446円に変更

※冬期間における走行時の安全性を図るため、LSD（リミテッドスリップデフ）を追加装備したものです。

○専決処分した事項の報告

佐井中学校屋内体育館改修工事の
契約金額の一部変更

1億7,550万円



1億8,959万6千円に変更

※体育館内部の床材の腐食が激しいことから、全面的な追加工事とガラスなどの耐震対策の追加工事を行い、工期を延長したものです。

○専決処分した事項の承認

佐井村手数料徴収条例の一部改正

マイナンバー法の施行に伴い、通知カードの再発行（500円）及び個人番号カードの再発行（800円）について、手数料を徴収するため改正したものです。

○財産の取得

小型動力ポンプ付積載車2台を取得するにあたり、青森消防設備と2,916万円で契約を締結したものです。

※専決処分とは

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定前に自ら処理することを言います。



新しいマイクロバスのボディには雲丹マーク入り



改修された体育館で元気にバスケットボール



大石 光範さん
(古佐井)

○固定資産評価審査委員

大石 光範氏の再任に同意

佐井村固定資産評価審査委員
大石光範氏を再任することに、
全会一致で同意しました。



宮川尚議員

「一般質問とは」・・・？

議員が役場の仕事について、村長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や村民の意見を述べることをいいます。

現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

オフサイトセンター建設誘致へ行動を起こすべき

避難道路として早期道路整備を

村長 — 重要課題である道路整備促進に力を入れる

宮川議員

オフサイトセンター建設誘致のための要望活動を、再度すべきと思うが、村の考えは。

前回要望書の効力
継続している

村長

平成25年8月2日に、佐井村と佐井村議会で、県の佐々木副知事に要望書を提出している。

県の原子力安全対策課に確認したところ、県ではこの要望書に関して当村に対し回答することになっていないが、未だに回答は得ていない。そのため、要望書の効力は継続されていると認識しており、再度要望活動は考えていない。

回答時期は
いつ頃か

宮川議員

県からの回答時期は、いつ頃になるのか。改めて要望活動はしないにせよ、水面下で条件などを精査の上、対策する考えは。

回答時期
明確ではない

村長

回答時期は、明確になっておらず、把握できていない状況である。
このオフサイトセンターは、前村長時代からの懸案事項であり、他町村の動向に遅れを取ることもなく、すぐに行動に移せるよう諸準備をしていく考えである。

建設候補地
村長の考えは

宮川議員

建設候補地の選定について、どのような条件が必要なのか。

現在候補地の絞り込みはしていない

村長

オフサイトセンターの整備などの要件に関するガイドラインによると、
①オフサイトセンターの家屋部分の面積は、800㎡位。
②ヘリポートを備えること。
③有事の際100人から150人が一同に会することから、それらを確保できる駐車場が必要。などと決まっている。

前回想定していた原田

選定しておくべきでは

宮川議員

高台を想定し、候補地を3地区ほど選定しておく必要があるのでは。

調査している段階

村長

標高や海岸線からの距離、耐震・防水性など、総合的に判断して選定すべきである。事務段階において、地権者や面積などを調査しているところである。

県にアピール
してはどうか

宮川議員

道路面において、当村では県道2本、国道1本の路線があり、有事の際にはどの路線を使っても対応できる。

優位的部分精査し
対応したい

村長

他の町村に比べ、優位的である部分を文章にし、それを基に対応して行きたい。

宮川議員

県道川内佐井線と、県道薬研佐井線の工事の進捗状況は。

また今後の工事内容は。

工事の進捗状況は下記の表のとおり

村長

下北地域県民局地域整備部からの情報は、下記の表のとおり。

	期 間	総事業費	延長	平均幅員	進捗状況 (平成27年度末見込)	進捗率
県道川内佐井線 通年通行のための冬季通行対策	平成24年度から 平成33年度まで	36億9000万円	12.6km	5.5m	10億9100万円	29.6%
県道薬研佐井線 事業完了後も冬季閉鎖路線	平成24年度から 平成32年度まで	36億600万円	20.4km	4m	10億1000万円	28.0%

1年でも早く

事業完成を

宮川議員

県道薬研佐井線も通年通行で、さらに1年でも早く事業が完了することが望ましいと思うが、村長の考えはどうか。

県道川内佐井線

通年通行に重点

村長

重点要望として、県道川内佐井線の通年通行を目指した整備に重点を置いている。道路整備促進は、人口流出に歯止めをかける意味でも、急がなければならぬ大きな事業であると認識している。

住民の理解得るためにも要望すべき

宮川議員

道路の整備がされなければ、今後大間原発の稼働にも支障がある。避難道路として住民の理解を得るためにも、この3本の路線の早期整備完成に向け、要望するべきと考えるが。

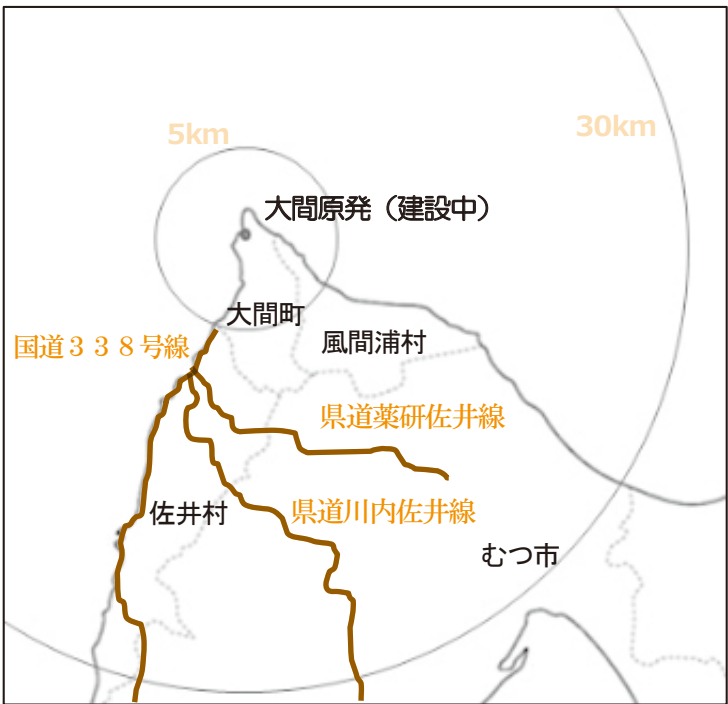
議会と一緒に要望活動展開したい

村長

道路網の整備は、生活道路という面以外にも、有事の場合の避難道路ともなることから、重要な路線ばかりである。

先般も、矢越から長後までの間の狭隘箇所を早期改良・改修を要望している。今後は議会と一緒に要望活動を展開して行きたい。

■大間原発からの距離と主要道路



災害に備えて（防災訓練）

◆追跡質問では、過去に質問した件はその後どうなったのか経過を問います。

26年12月定例会で質問

牛滝小中学校・福浦小中学校

両地区が納得する方向性を

坂井議員

以前、統廃合について質問した際は、27年度中に協議を重ねて、28年度にはその方向性を見出したとの答弁だったが、その後の経緯は。

意見取りまとめ中

教育長

9月9日に福浦地区、10日牛滝地区において、適正な学校規模に関する懇談会を開催している。現在意見を取りまとめている最中であるが、その一部について紹介する。

- ・通学時間がかかるため、部活動や家庭学習が疎かになる危険性がある。
- ・冬期間のバス通学での事故や、除雪に関して心配。
- ・学校がなくなれば、地域が寂しくなる。
- ・このまま子どもの数が減っていくと、子どもが可哀そう。
- ・職員の配置に関する要望。

再度地元との協議も考えているか

坂井議員

福浦・牛滝間の交通的部分が非常に懸念される。来年度中に方向性を決めるにあたって、再度、地元との協議なども考えているか。

説明会を行うことを協議している

教育長

現在は、懇談会という事で地元の方から意見を伺っているが、この意見が集約され、議論が深まった段階で説明会を開催することも考えている。

28年度中に決定と理解してよい

坂井議員

教育委員会の方針を示し、どのような形の統廃合になるかを住民に説明しながら、28年度中には決定すると理解して良いか。両校の統合については、さまざまな課題や問題があり、大変難しいと予想さ

れる。そのため、住民の意見を聞き、教育委員会で計画案を示しながら、両地区の住民が納得できるように進めて欲しい。

話し合いを重ね方向性を示す

教育長

現段階では、統廃合という形で進めるとは明言できないが、今後話し合いを重ねて方向性を出したい。



福浦小中学校運動会

運動会や各学校行事では多くの人が参加し、地区をあげて行われます



牛滝小中学校運動会

12月定例会 陳情書の審査結果

若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

【陳 情 者】 全日本年金者組合青森県本部

【審 査 結 果】 採 択

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【採択の理由】

非正規労働者とワーキングプアの拡大が、国民年金の未納者を増やし、将来無年金・低年金が懸念される。

また、現在の年金受給者は生活が厳しく、高齢者を取り巻く環境はますます厳しさを増している。本来年金は、今以上に支給し老後を安心して送ることが大事であると考えことから、採択すべきものとした。

採 択

採択された意見書

国へ提出しました

米価暴落対策の意見書を求める陳情

【陳 情 者】 青森県農民運動連合会

【審 査 結 果】 不採択

不採択

【不採択の理由】

平成26年産米の相対価格の水準は低く推移し、稲作農家の経営が厳しい状況にあるが、過剰米だけでなく農業政策の総合的な対策が必要である。一方、今後のTPP協議において、農業や食の問題も大きく絡んでくるなど、農業全般にわたってさまざまな問題があることから、不採択とした。

TPP日米協議の合意内容を明らかにし、国会決議に違反する合意の撤回を求める陳情

【陳 情 者】 青森県農民運動連合会

【審 査 結 果】 不採択

不採択

【不採択の理由】

TPP日米協議は、農林漁業への影響のみならず、食の安全、医療制度、保険、自動車など国民生活に広く影響を及ぼすものであり、国民の暮らしと合わせて、経営安定・安定供給へ備えた措置の充実を図るべきと考える。

また、TPP交渉は、去る10月5日既然大筋合意され、11月18日には参加13か国の首脳が声明を発表していることなどから、機を逸しているため不採択とした。



元気！で働く お年寄りを紹介



中西 正さん（88歳） 牛滝
「牛滝の荒波で漁をする現役漁師」

早 寝早起きで、週に2・3回は温泉に行くことが健康の秘訣。と話す中西正さん。今でも、息子さんと海へ出て網を起こし、沖に出られない日は網仕事をする現役の漁師です。

数えていくと、今年90歳を迎える中西さんですが、「足や腰が痛くてつらい」ということがないそうです。また朗らかに話す言葉は、時に力強く、とても年齢を感じさせません。

学 校行事は、先生の歓迎会や運動会、学芸会など、必ず参加しているそうです。学校と地域の結びつきを大事にしている牛滝地区では、毎月発行している「学校便り」が地区全戸に配布され、それが20年近く続いていると教えてくれました。

「逆境は、人生において真実を教える最高の教師」
「人間に生まれて、苦しいことやつらいことを経験してこそ、真（まこと）を得ることができる」
と、信念をもって一日一日を大切に過ごしている中西さん。これまで苦労もあつたけど、それ乗り越えてつかんだ今が幸せと語ってくれました。

昨 年から遠く東京で働き始めたお孫さんが、今年お年玉をくれたことがとてもうれしかった。
お孫さんの成長が楽しみであり、喜びだと言います。
何よりも健康でいること、そして働くことが元気の源。「朝、目が覚めると、まずは健康に感謝する。生きているうちは働いていたい。」と話していました。



◇編集後記

昨年から「お元気ですか」のコーナーで、元気で仕事をしているお年寄りの方を紹介しています。人生の先輩として、私をはじめ多くの方が健康などについて考えるきっかけを与えてくれたのではないのでしょうか。

日頃の健康管理を大事に元気で過ごすことが、「村の元気」に繋がるのではないかと思います。
今後「誰にでもわかりやすく親しみのある議会だより」を目指していきます。（宮川）

広報編集委員

委員長	田中 岩男
副委員長	山口 捷夫
委員	宮川 尚
〃	竹内 典和
〃	川畑 勲夫